

2022年2月9日 第408号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
<http://www.kyodo-center.jp> mail: move@zenroren.gr.jp

憲法共同センター「9の日」宣伝

ルール破り 予算審議と並行して憲法審査会開くな！
いのち・くらし守る憲法をいかす政治に

憲法共同センターは2月9日昼、新宿駅西口で「9の日」宣伝を行い、8団体18人が参加しました。「憲法改悪を許さない全国署名」は16人の方が協力してくれました。自民党は、全都道府県連で集会を開くとするなど、草の根からの改憲運動を強化しようと躍起になっています。職場・地域から学習、宣伝を強め、署名を軸に「改憲を許さない」取り組みを広げていきましょう。



自由法曹団事務局長の平井哲史(てつふみ)弁護士は、「コロナの感染拡大をなくすための対策が必要なのに、予算審議と並行して不要不急の憲法審査会で議論をすすめようとしているのか。検査体制もひっ迫しており、2年間何をしてきたのか。コロナ対策、公衆衛生の体制づくりが必要」と強調しました。

全労連女性部の舟橋初恵部長は、「コロナ禍で解雇、雇止め、シフト減など女性たちにしわ寄せがきている。憲法25条にある健康で文化的な生活が保障されていない。岸田首相が聞く耳を持っていると言うなら、一人ひとりのいのちとくらし、雇用を守るため、力を発揮してほしい」と訴えました。

日本共産党の紙智子参議院議員は、「各種調査の結果では、国民は改憲を望んでおらず、憲法9条は必要だとの声が多い。憲法9条に自衛隊を書き込むことで、海外での武力行使が自由にできるようになる。海外での戦争に乗り出す国にしていいいのか。阻止しなければならない」と訴えました。

憲法会議の高橋信一事務局長は、「改憲勢力は、予算審議を優先させるというルールを破って、憲法審査会の毎週開催をねらっている。軍事予算は10年連続で増加し、6兆円台になった。いのち・生活を守る予算に組み替えさせよう」と呼びかけました。

●東京

文京アクションが憲法署名推進の学習会を開催

新署名 2 万 5 千筆を集めきる目標を新たに

1 月 7 日夜、文京区労協・大谷議長が代表を務める「改憲 NO! 文京アクション」は、新春憲法学習会を文京区民センターで開催し、文京区労協・文京労連の組合員や、地域の平和団体など 52 人が参加しました。この日の学習会は全国市民アクションが提起した「憲法改悪を許さない全国署名（新署名）」推進のために開催したもの。

千駄木憲法学習会の山口さんの司会で進行し、主催者あいさつに立った大谷文京区労協議長は、昨年の国会で岸田首相は「敵基地攻撃」を明言したと指摘。来賓の松尾明弘前衆議院議員（立憲民主党所属）は「自民の改憲案は酷過ぎる。野党共闘を前進させ、今踏み止まらなければ」とあいさつしました。

「文京アクション」は 2 月 2 日、「憲法改悪を許さない全国署名（新署名）」の目標を 2 万 5000 筆に設定し、月 1 回の憲法宣伝に加え、地域 9 条の会や原水協などの連携団体の運動を強化していくことを確認しました。2 月区議会に合わせた「いのちとくらしを守り、憲法 9 条を生かした外交を求める」請願行動にも取り組みます。（東京地評改憲阻止闘争本部 FAX・MAIL ニュースより）



●兵庫

戦争しない・いのちを守る憲法署名 創意・工夫を学び合い

兵庫憲法共同センター第 18 回総会開催



憲法改悪ストップ！兵庫県共同センターは 2022 年度・第 18 回総会を 2 月 5 日に高教組会館で開催し、兵庫労連・革新懇・兵商連・共産党・憲法会議・AALA の 6 団体、中央区・灘区・兵庫区・長田区・須磨区・垂水区・西区・西宮市・明石市の 9 地域センター、西明石 9 条の会が参加しました。

はじめに津川知久代表は現在開会中の国会での「改憲策動」の動きについて詳しく解説しました。衆院本会議での「改憲あおる維新」や改憲自公の腰を押す「国民民主」の動向を具体的に発言。とりわけコロナ第 6 波に便乗して「緊急事態条項」を改憲導入の焦点にしていることを厳しく批判しました。

こうした動きに対する私たちの“たたかいの基本”は、①生活をまもるたたかいとして、②「戦争する敵基地能力の発動」が自衛隊員・国民・相手国民の“いのちを奪う”ことから、誰のいのちも守るたたかいとして、③「市民と野党の共闘」めぐる“動揺”を克服・発展させる地域・職場か

らのたたかいとして、確固たる姿勢で立ち向かうことを強調しました。

総会の議事として、議案は和田邦夫事務局長から簡潔に報告と提案を行いました。討論と交流では、既に広がっている新憲法署名の実践報告が行われ、その創意と工夫を互いに学び合う画期的な場となりました。

(団体・地域の発言 11 人のうち、ひとつを紹介)

【兵庫区】：中央憲法会議の「憲法 9 条守る赤ちゃんポスター」を 100 枚購入して地域に張り巡らせている。ただ共産党のポスターは OK のお家でも「このポスターはダメ」と言われるので理由を聞くと「中国が攻めてくるから」といわれびっくり。また B 4 大の「憲法 9 条」をリュックの背中につけてバスや電車に乗ると必ず「中国が攻めてくるやないか」という人がいる。マスコミ報道が最優先している関係と思うが、私は反論せず「そのとき貴方はどうするんですか。戦争にいくのですか」と聞き役にまわると対話が深まっていく経験で大変勉強になっているとのことでした。



(改憲ストップ兵庫県共同センター週刊ニュースより)

●和歌山

県民の会で全県意思統一集会を開催

総選挙後、改憲策動は新たな段階に！ 新たな決意のたたかいを

1 月 30 日、憲法九条を守るわかやま県民の会の「改憲ストップ！ 草の根からの運動をつくる全県意思統一集会」が県民文化会館 3 階特設会議室で開催され、会場には 29 人が、オンラインでは 20 カ所約 30 人の参加がありました。事務局の武田さん(和教組委員長)が進行役を務め、はじめに和歌山市共同センターの深谷さん(年金者組合委員長)があいさつ。続いて憲法 9 条を守る和歌山弁護士会の会事務局長の浅野喜彦弁護士から来賓のあいさつをいただき、小田川義和さん(戦争させない・9 条壊すな！総がかり行動実行委員会共同代表・全労連顧問)の記念講演に入りました。

記念講演のポイントの一つとして「総選挙後、改憲策動は新たな段階に入った」として「新たな決意のたたかいを」と訴えられたことです。国会内の改憲派の議席が 3 分の 2 を占め、国民民主党が変節し、アメリカ・バイデン政権の圧力の中、自民党は「憲法改正実現本部」と看板の掛け替えを行っています。さらに「戦争法」の下で、軍事大国化へ一気呵成の動き、軍事費の増大、土地利用規制法の施行、辺野古・馬毛島での基地建設、宮古島へのミサイル配置などを紹介。そんな中で、参議院選挙前にも改憲発議の可能性があると考え、参議院選挙が 9 条改憲阻止の正念場としつつ、前倒しのたたかいを強化しなくてはならないことが強調されました。

(憲法九条を守るわかやま県民の会ニュースより)

当面の行動

2 月 17 日(木)	総がかり行動	署名宣伝	18 時～	新宿駅西口
2 月 18 日(金)	総がかり行動	ユースアクション	18 時 30 分～	新宿駅東南口
2 月 19 日(土)	総がかり行動	「19 日行動」	14 時～	国会議員会館前
2 月 22 日(火)	総がかり行動	ウィメンズアクション	18 時～	有楽町イトシア前